

関西クィア映画祭は、性とそれに関わる暮らしや生き方をテーマにした映画を上映する映画祭です。3回目の今年7月には「タイヘン×ヘンタイ」をテーマに掲げ、世界から集めた15プログラム50作品を上映し、約1200人の方のご来場を頂きました。

今回の関パレ協賛上映会では、過去3回の映画祭で上映された作品の中から、選りすぐりの作品を上映します。また単に映画を見るだけではなく、映画についての感想を述べあったり、参加者同士で交流する時間も設けるなど、参加型の濃ゆ〜い企画にする予定です。

パレードでは「トランスではないゲイ男性」が一番目立つ傾向がありますが、実はそれ以外にも様々なセクシュアリティの人々も参加しています。トランスジェンダーや女性など、コミュニティ内部でも見落とされがちな側面にも光を当てる企画にしたい!と思います。

◆「クィア/Queer」って??

英語で「変態」のこと。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど、性別や性的指向の領域で「ふつう」ではないと考えられている人々が、差別的なクィアという言葉を手にとり自稱することで、自らの立場をポジティブに捉え直す意味を持ちます。

◆「トランスジェンダー」って??

出生時に振り分けられた性別とは異なる性別で生きようとする人。性同一性障害の人も含む広い言葉。



それに 高価すぎます
ドライブブルー



インターセックス丸出し! フル・モンティ



A Tulip of Violet

上映作品 (★印: 日本語字幕有り)

- 『PEACE PEACH』
(浪速ビニール/4分/2004/日本/日本語)
- 『パペット劇場〜愛、以外。』
(浪速ビニール/8分/2004/日本/日本語)
- 『まんこ独り語り(初級編)』☆
(和義名万子/61分/2007/日本/日本語/★)
- 『ドライブブルー』
(Jed Rosenthal Bell/4分/2004/米国/英語/★)
- 『ヘルプライン』
(Joli(e)/5分/2004/オランダ/英語/★)
- 『トイレのレッスン』☆
(Tara Mateik and the Sylvia Rivera Law Project/30分/2003/米国/英語/★)
- 『商業主義をぶっとばせ! - 「ゲイ同化」へのクィアな応答 -』☆
(PaperTiger Television/28分/1993/米国/英語/★)
- 『インターセックス丸出し! フル・モンティ』☆
(Eli (Shorona) seMbessakwini/7分/2002/オーストラリア/英語/★)
- 『A Tulip of Violet』
(安藤優美/26分/2006/日本/日本語)

各作品の詳細やプログラムはサイトをご覧ください。
☆印の作品の上映後に、映画の感想を述べ合います。全作品の上映後は交流歓談タイムです。

★入場料 (当日券のみ。予約不要。直接会場にお越し下さい)
映画祭オリジナルTシャツ付プレミアチケット 2000円 (在庫限り・当日先着順)
チケットのみ 1500円 ※いずれも全作品をご覧頂けます

★問合せ
20071103@kansai-qff.org (お返事にお時間を頂く場合があります)
080-3820-2731 (折り返しお電話します。留守電にメッセージをお願いします)

関西クィア映画祭

<http://kansai-qff.org/>

スタッフも募集中! お問合せ下さい